

○事業計画

1. 基本方針

土佐清水市市民憲章、教育行政基本方針に則り、各学校の実践を尊重し、密接な連携を図りながら、生涯学習を視野に入れた、必要で可能な支援を行います。

2. 研究テーマ

「 教師力を高めるために教育実践上の諸問題を調査・研究し、研修を支援する 」

3. 事業計画（重点施策）

(1) 教員の資質・指導力の向上の取組

- ① 転入教職員研修会（地域学習会）の開催
 - ・関係機関と連携して教職員の研修を支援します。
- ② 校内研修や教育活動への支援
 - ・校内研修への参加並びに取組の情報発信を行うことで実践の共有化を図ります。

(2) 授業力・指導力の向上の取組

【委託事業】

- ① 教育推進委託費による事業（土佐清水市教育研究集会の運営）
 - ・市内教職員の自主的研修（教科等指導力向上）を推進する土佐清水市教育研究集会を支援します。
 - ・事務局として教育研究集会の充実に努めます。
 - ア. 組織教研： 5月 8日（水）〔全体会、各部会研修〕
 - イ. 一日教研： 8月 7日（水）〔講演会、各部会研修〕
 - 講師：杉本 美香 氏（柔道家）
 - 演題：『 Always smiling ～夢をかなえるには～ 』
 - ウ. 半日教研： 11月 6日（水）〔午後・各部会研修（授業研を基本に）〕
 - エ. 総括教研： 1月末までに各部会で設定・開催する。
 - オ. 研究集録『清水の教育』の発行
- ② 教育調査研究委託費による事業
 - 研究協力校、研究員（グループ）を委嘱し、共同で調査研究を行います。

【こども未来課学校教育係主管】

- ① 学力向上検討委員会（支援）
 - ・全国学力学習状況調査、標準学力調査、高知県学力定着状況調査の結果を分析し、学力の向上を目指した方策について検討し、指導内容・指導方法の工夫改善等について提言を行います。
- (3) 豊かな心と健やかな体の育成
 - ① 定期的な学校訪問
 - ・不登校、問題行動、その他児童生徒の実態を把握し、学校、SSW、関係機関と連携して具体的な方策を探ります。
 - ・不登校、いじめ、その他、生徒指導上の問題について、資料提供など教育研究所としての支援を行い、より効果的な方策を学校と共同して研究します。
 - ② SSW（スクール ソーシャル ワーカー）・SC（アウトリーチ型）との連携
 - ・SSWやSCと連携を図りながら生徒指導上の課題に対応し、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけ支援を行うと共に、教育相談体制を整備します。

③ 適応指導教室との連携

・適応指導教室の運営に参加します。

④ 「特別支援教育（学校）コーディネーター連絡協議会（あすなろネットワーク）」の開催

・「あすなろネットワーク」の組織主体で連絡協議会を持ち、市内保育所、幼稚園、小中学校、高等学校、その他関係機関との連携を深め、コーディネーターのスキルアップのための研修を進めます。

※「あすなろネットワーク」

・不登校児童生徒の未然防止と早期対応のための実態調査や事例研究、幼児・児童・生徒が安心して過ごせる園、学校づくりのための研修を行い、スキルアップを図ることで各園・学校において特別支援教育コーディネーターが実践リーダーとしての役割を果たし、教職員の意識改革と支援力・対応力の向上に繋がります。

・学校だけでは対応しきれない問題などについて整理すると共に、関係機関と連携し、家庭への効果的な支援や家庭教育の向上等に努めます。

・年間5回の研修会を開催します。

⑤ 引きこもり児童生徒の学校復帰への支援活動を適応指導教室相談員、SSW、家庭児童相談員と連携して方策を探ります。

(4) 特別支援教育支援

学校並びに特別支援教育研究会の支援要請に応えます。

(5) 情報教育に関する事業

情報教育等の支援に努めます。

① 教育センター・教育研究所のホームページの充実

(6) 資料収集に関する事業

教育関係図書、研究資料、DVD等の資料を収集し提供します。

① 研究資料の整理と活用を図ります。

② 教育研究所機関、大学等の調査研究報告書等の資料を収集します。

(7) 刊行物

調査研究の成果として研究紀要を編集し活用を図ります。

① 『研究所要覧』の発行

② 研究報告書『清水の教育』の発行

③ 『研究所だより』の発行

④ 社会科副読本「土佐清水市のくらし」（3・4年生用）の増刷・配布

⑤ 郷土の偉人「中濱万次郎」副読本（全児童・生徒用）編成委員会の設置・製本

(8) 教育研究所運営審議会

教育研究所の適正な運営を図るために年間3回の審議会を開催します。

(9) 教育研究所連絡協議会

県教育研究所連絡協議会（年2回）に参加し、課題を共有・協議することで、資質・指導力の向上など諸課題の解決に対する取組の充実を図ります。